

認知症の人の生活モデルの紹介

1 目的

認知症になっても安心して暮らし続けるためには、必要なサービス利用や医療、関わる多様な方々の連携、温かく見守る地域づくり等が求められている。

地域の中で、安心して過ごせる環境の構築や提供を行いつつ、認知症の人のケアに取り組んでいる地域密着型サービス等の実践から認知症の人の生活を学ぶことで、地域での暮らし方の理解普及を図る。

2 内容

- (1) 家族介護者教室の一環として、認知症の人の生活を紹介する講座の開催や地域密着型介護サービス事業所等の見学会を開催する。

※ 家族介護者教室

在宅で高齢者を介護する家族および介護に関心のある区民を対象に、介護知識、介護技術等の普及を図るため、区内介護サービス事業所において講座、実技指導等を実施している。

- (2) 認知症ガイドブックにて生活事例を紹介する

3 実施スケジュール

- (1) 講座・見学会等開催 平成27年4月以降実施

- (2) 認知症ガイドブックへの掲載 平成28年3月

4 区民向け講演会

(1) 目的

来年度以降、家族介護者教室にて認知症の人の生活モデルを紹介する講座や地域密着型サービスの見学会の開催にあたり、広く区民に認知症の人の生活のイメージを持っていただくための講演会を開催する。

(2) 内容

第1回 (仮題)「地域での共同生活～認知症対応型グループホームの取組」
講師：ミニケアホームきみさんち 管理者 志寒浩二氏
(練馬区在宅療養推進協議会認知症専門部会委員)

(3) 日時

平成27年3月13日(金) 午後2時～4時

(4) 場所

練馬区役所 20階交流会場 定員40人

(5) 対象

区民